

尚友会だより

第2号

尚美学園大学尚友会会報第2号

【発行日】平成28年10月1日

【発行者】尚美学園大学尚友会

〒350-1110

埼玉県川越市豊田町 1-1-1



尚美学園大学 学長
久保 公人

学長ごあいさつ

尚友会が「オール尚美」の校友会として設立され、第2号の会報を出される運びとなりました。高桙会長や役員の皆様には、これまで卒業式や入学式など様々な行事にご臨席いただき心から感謝申し上げますとともに、尚友会会員の皆さま方によるご支援に心から御礼申し上げます。

私は、本年4月1日付で学長に就任いたしました。教育機関のマネジメントに関して蓄えた経験を活かし、尚美学園大学の充実発展に尽力する覚悟であります。18歳人口が減少し、多くの私立大学が経営に苦勞しています。この状況で、本学が未来に向かって成長していくには、常にカリキュラムを見直し、学生の学力を伸ばし、社会人としてのマナーを涵養し、

卒業から就職まで帰結させなければなりません。更に、学生一人ひとりを大切にし、学生や保護者のニーズを踏まえたきめ細かい教育を、教職員一丸となって進めていくつもりです。学生と保護者の皆様はこの大学に入って良かったと思っていただくことが、何より大切であると思います。

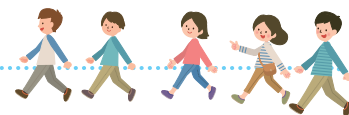
これまで、保護者の皆さまと何回か懇談させていただきましたが、お母様が尚美学園の短大や専門学校の卒業生でいらっしゃるという話をお伺いすることもあり、尚美の歴史の厚みを実感しております。

「学び舎に 絆むすびし 子らの音は 尚美しく 永遠の智と愛」赤松憲樹先生のこの思いを皆さまと共有し、大学と尚友会とが連携して学生を暖かく包みこんでいけたらと願っております。

Topic 1

尚美学園大学校友会「尚友会」第2回総会のご案内

「尚友会」は、尚美学園大学・大学院在学学生、同卒業生・修了生、及び尚美学園短期大学卒業生並びに現教職員・旧教職員で組織されています。総会は、尚友会の最高議決機関であり、「尚友会」の事業報告および事業計画、予算などについて審議されます。総会後には、軽食を供する懇親会も予定しておりますので、万障お繰り合わせの上、ご出席くださいますようお願い申し上げます。



尚、総会前日及び当日は「尚美祭」を開催しております。

お仲間・ご家族お誘い合わせの上、お越しくださいますようお願い申し上げます。

お問い合わせ先:

尚美学園大学 学生課「尚友会担当」

TEL: 049-246-2127 (学生課直通)

- 日時: 2016年10月23日(日) 午前11時開会
- 会場: 尚美学園大学 新本部棟1階 学生ラウンジ
※スクールバスのご利用は、尚美祭スクールバスダイヤをご参照ください。
[大学ホームページ > 交通アクセス > バス時刻表 > 尚美祭ダイヤ]
- 内容: 【第1部】総会 【第2部】懇親会



■第1回 & 尚美祭の写真



Topic 2

会員通信 テーマ「尚美といえは ○○○」について語っていただきました!

先生



総合政策学科教授
坂本 邦彦 先生



「尚美といえは・・・武蔵野の美、そして、山吹の花一枝です。」

昔日の風景だが…、上福岡駅から霞ヶ丘団地を抜け、乗馬クラブを経て川越街道を渡ると、程なく雑木林に差し掛かる。「武蔵野の傍は今わずかに人間部に残れり」。国木田独歩が「武蔵野の美今も昔に劣らず」と語る落葉林の美が、そこにあった。雑木林を抜けると、レンガ造りの校舎が見えてくる。正門に入り、学食の方に向かうと、黄色い花を咲かせる山吹の低木があったように思う。上福岡キャンパスにかわり、2000年にオープンした川越キャンパスには、秋になると団栗を拾うことができる雑木林がある。校舎の随所に配されている黄色は、山吹の花を表しているという。「七重八重 花は咲けども 山吹の みの一つだに なきぞ悲しき」。鷹狩の最中、雨に遭い、蓑を借りようと尋ねた農家で若い娘から差し出された一枝の山吹。貧しくて蓑を貸すことができないことを、実を付けない山吹に託したところ、武将太田道灌はこの意味を解せず、のちに古歌の意味を知り、無学を恥じたとの逸話がある。やがて、江戸城、そして川越城を築城することになるわけだが、校舎の黄色は、この故事にまつわる。

尚美は、川越の地に根付く学び舎として、さまざまなものを継承し、伝統を作り上げてきた。新しいものを取り入れつつ、自然と歴史が織りなす美を探求する場として、これからもその役割を果たしていくことであろう。卒業生、在学生には、尚美で培った美の妙をさまざまな世界に発信していただきたい。

先生



元音楽表現学科教授
岡崎 明義 先生



「尚美といえは・・・岡崎の青春と人生」です。」

1973年、国立音楽大学卒業と同時に、故赤松憲樹先生からお声をかけていただき、尚美高等音楽学院（現尚美ミュージックカレッジ）の非常勤講師として、フルート・レッスン、ソルフェージュ、管楽アンサンブル授業などを担当しました。当時は、本当に必死の思いで過ごしていましたね。79年には専任講師となり、授業外でも軽井沢セミナーハウスでの合宿、定期演奏会や学生講師派遣等の指導引率から学園祭まで、学生達と共に活動を楽しみ、絆が更に強くなりました。

1981年、尚美音楽短期大学（86年、尚美学園短期大学に改称）が開学し、翌年から管弦打楽器コース専任講師となりました。埼玉県との共催で、東京交響楽団と県内高校生と学生合唱団による「第九演奏会」を川越市民会館などで開催したのを皮切りに、87年から同じく県との共催で、県内中学・高校の吹奏楽部と短大管弦打コースによる「吹奏楽フェスティバル」を大宮ソニックシティで開催しました。以降13年間、実行委員長として吹奏楽部顧問の先生方と共に、とても有意義な経験をさせていただきました。

2000年には尚美学園大学に改組となり、音楽表現学科で15年の勤めを果たしました。まさに、尚美に始まり尚美に終わった教員人生でした。その間、多くの卒業生が社会でご活躍との報告が届いています。学生たち、そして卒業生は尚美の宝です。一人ひとりの個性を引き出し、世に送り出したことが一番の喜びですね。

卒業生



尚美学園短期大学卒業生
株式会社エクサインターナショナル
代表取締役社長 西 美砂子

「尚美といえは・・・音のひろば」です。」



こんにちは、私は1996年3月、尚美学園短期大学の卒業生です。爾來、短かったとも長かったとも感じられる20年が経ちました。

初めて上福岡にございました学園を訪れた時のこと、赤レンガの校舎と緑豊かな木々に囲われた「ひろば」のどこからともなく音が溢れ、心地よい風を感じながらわくわくしたことを思い出します。

学生時代には、漠然と音楽で人に感動を与えるような仕事に就きたいとの思いを胸に入学したのですが、様々な学びに接するうち、時折自分自身の能力に挫折を感じることもありました。それでも、音楽や映像分野におけるIT活用が始まる時期とも重なり、撮影、編集、作曲、DTP、DTM、プログラミング、CGデザイン、オーサリング、データ通信、データベース、著作権に関する勉強など、斬新かつ多様な知識を吸収できたことが、今の仕事に少なからず関係していることを実感いたしております。今思い返しますと、もっともっと積極的に自ら学んでおけばよかったと後悔することもございますが、学生時代に経験したことは今につながる貴重なきっかけであったように思います。

現在、後輩である卒業生の方々にも我が社に社入社いただき、共に働けることを大変嬉しく思っております。また、共に学んだ卒業生の皆さまともまたどこかでお会い出来ること、大学におかれましても、素敵な学びの場がさらに魅力的で充実した環境へと発展していかれることを楽しみにしております。

在学生



ライフマネジメント学科3年
女子チアダンス部ベリタス
キャプテン 富田 英里香

「尚美といえは・・・目標に導いてくれる場所」です。」



私は、高校最後のチアダンス大会で目標達成出来なかった後悔と、スポーツ関係の勉強がしたいという思いで、ライフマネジメント学科に入学を決めました。最初は高校との違いに戸惑いましたが、今では自分で決めて履修できる大学の良さが分かってきました。パフォーマンス演習、ヨガ、ピラティス、バレエなど、チアダンスに繋がる授業を取ることが出来るのも嬉しい点です。

女子チアダンス部ベリタスでは週4回練習し、とても充実しています。年間に大きな大会が3つありますが、昨年11月、全日本チアダンス選手権チアダンス部門で優勝し、全米学生選手権大会出場権を獲得。今年4月、フロリダ州デイトナビーチへ行ってきました。全米350余りの大学が参加した大会にはいくつもの部門があり、ベリタスは「Dance Team Performance Division III」に出場。予選は3位通過でしたが、その後演技修正を行って臨んだ結果、最高の栄誉を手にすることができました。決勝は真横が海!という素敵な野外ステージ。アメリカチームの中で優勝できたことがとても嬉しかったです。桜美林大学と玉川大学も別部門で優勝し、日本の3チームが大きなトロフィーを手を凱旋しました。私達が飛躍的に成長することができた大会であり、全ての経験が最高の思い出になりました。

今年度も更に目標を高くし、新たなメンバーで向かっていきます! 今後とも応援よろしくお願いたします。

Topic 3

第1回教育シンポジウム開催報告 テーマ「今、求められる教師像!」

尚友会では、在学生を応援する「教育振興支援」事業を推進しています。去る2月13日（土）、その第1弾として、教職課程を履修している学生を対象に、「教職を目指す学生に何が求められているのか?」をテーマに、シンポジウムを開催しました。シンポジストには、教育行政と学校現場でご活躍されている卒業生の皆さんをお迎えし、今回のテーマについてお話しいただきました。

シンポジストの皆さんに一貫していたことは、「時代が変わり教育を取り巻く環境が変わっても、求められる教師像は変わらない。不易と流行を見極めることが大切。」ということでした。そのほかにも、教員採用試験について、子供たちにどれだけ共感できるかについて、教師を続けていく上で家族の理解・協力は不可欠なこと、そして、サッカー部のV.S.O.P.理念（Vitality：活力、Speciality：専門性、Originality：独創性、Personality：人格）が教育にも通じることなど、多彩なお話を時折ユーモアを交えながら熱く語っていただきました。

参加学生からも積極的な質問がなされ本音のやり取りが展開しましたが、卒業生の実体験を交えた生の声は、求められる教師像を鮮明に映し出すもので、そのまま心強いエールとして教師を目指す学生たちに届き、改めて奮起するきっかけとなる大変貴重な時間となりました。



<シンポジスト>

富山 和幸（川越市教育委員会 指導主事）

木村 信之（久喜市教育委員会 指導主事）

井戸 正利（東京都江東区立香取小学校 主幹教諭）

茅野 まりこ（千葉県野田特別支援学校 教諭）

小山内 仁 コーディネーター（北海道平取町立平取中学校 校長、尚友会副会長）

※（肩書）は、シンポジウム開催当時のものです。

Topic 4

学生支援プロジェクト “就職最前線” 開講!

IT化、グローバル化、少子高齢化など、社会の変化は加速しています。また、社会環境の変化は価値観の多様化を促し、産業界の動向に多大な影響を及ぼしています。今まさに、社会のニーズに対応した人材育成が求められています。尚友会は、社会的・職業的自立が図られるように、学生のための就職支援を行います。

そこで今回は、大学秋学期の開始時期に、キャリア・就職課が主催する「就職セミナー」の一環として講演会を開催いたします。就職最前線に足を踏み入れた学生を対象に、社会の一線で活躍中の卒業生を講師として迎え、身近な先輩ならではの本音、体験談を交えて、社会に求められる人材像について語っていただきます。



テーマ： 「求められる 人材—産業界 の声—」



講師：紺井 隆宏 (株式会社 RAY)

白石 英二 (横河武蔵野フットボールクラブ 事務局長)

奥村 裕二 (洋楽バー STAY UP LATE 代表)

司会：高埜 雅之 (尚美学園大学尚友会 会長)

協力：尚美学園大学 キャリア・就職課

※日程・会場は決定次第、学内で告知します。

Topic 5

維持会費納入のお願い

尚友会の事業は、入学時に納入していただく「終身会費」と卒業生や教職員の皆様から任意で納入していただく「維持会費」により運営されます。この維持会費の拡充により、現役学生への支援も手厚いものとなります。尚友会の掲げる『建学の精神である<智と愛>を継承し、会員相互の親睦向上を図るとともに、尚美学園大学の教育振興を支援し、もってその発展に寄与する』という目的をご理解いただき、ぜひ維持会費の納入にご協力をお願い申し上げます。

お預かりした会費の使途である「尚友会事業」は以下の通りです。

【校友会事業】

- ① 定期総会「ホームカミングデー」の開催
- ② 会報「尚友会だより」の発行 (年2回予定)
- ③ 学園祭への参加と後援会や学生との交流
- ④ 大学・各学部・学科主催行事への積極参加
- ⑤ 役員会等の運営

【助成事業】

- ① 教育振興助成<教職資格課程支援やキャリア就職支援プログラムなど>
- ② 学友会活動への助成<卒業生記念品事業など>
- ③ 尚美祭への助成<広告協賛など>

■ 平成28年度「維持会費」の納入について

1. 維持会費は、一口：2,000円です。
2. 維持会費は、年会費として会計年度(4/1～翌年3/31)毎に収納いたします。
3. 納入方法は、郵便局(ゆうちょ銀行)からの払込みでお願いいたします。

※ 同封の「払込取扱票」に送金額を添えて払込みください。(手数料は不要です)

※ ゆうちょ銀行のATM(払込み機能のあるものに限ります)でもご利用いただけます。

※ 払込み「金額」の記入に加え、通信欄に「住所・氏名」及び卒業生は「学籍番号・学科名」、旧教職員は勤務時の「所属部署」を明記してください。

※ 現教職員の皆様には、別途学内でご案内いたします。



合唱団員募集(卒業生)

歌うことが好きな卒業生の皆さん、
在学生と一緒に素敵なハーモニーを奏でませんか♪

今年度催される音楽演奏会で結成される合唱団員を募集しています。

演目「オルフ：カルミナ・ブラーナ」

◆ 2016年12月23日(祝)「里山音楽祭」/会場：ウェスタ川越

◆ 2017年2月25日(土)「音楽表現学科定期演奏会」/会場：尚美学園大学 パストラルホール

ご応募・お問い合わせは、

「音楽表現学科 山崎先生」までお願いいたします。i-yamazaki@s.shobi-u.ac.jp

会長のつぶやき

尚友会も軌道にのってきました。これも、スタッフの皆さんの尽力のおかげと感謝しております。さて、私はこの夏、アマチュアのミュージカル劇団に参加。池袋の小劇場で「シカゴ」を演じました。弁護士のビリー役。主演男優でちょっとスター気分でした。(笑)

【尚友会連絡先】

〒350-1110 埼玉県川越市豊田町1-1-1

尚美学園大学 尚友会担当：049-246-2127 (学生課直通)

会員の皆様へ

尚友会に対するご意見・ご要望をお寄せください。卒業生の皆様は住所等連絡先の届出や変更などの情報もお寄せください。